
◎町長所信表明

○議長（土屋清武君） 日程第7、町長の所信表明を行います。

町長から発言の申し出がありますので、これを許します。

○町長（長嶋精一君） 土屋議長のご承諾をいただきましたので、平成29年第4回松崎町議会定例会の開催にあたり、改めてご挨拶をさせていただくとともに、町民の皆様並びに議員の皆様
に私の所信を表明し、今後の町政運営についてご理解とご協力をお願いするものでございます。

さて、12月3日執行の町長選挙については非常に厳しいものでございましたが、多くの方々に力強いご支援をいただき、当選させていただきました。

そして町長就任後、齋藤前町長から事務引継を受け、各課の現状と課題を確認いたしました
が、取り組まなければならない多くの課題が残されていることを、改めて理解を致しました。
議員時代から町内をくまなく歩いたことで沢山の要望や、時には厳しいお言葉をいただきました
が、それらを踏まえた上で、私のまちづくりへの考えを述べさせていただきます。

まず政策として3つの柱を掲げました。

1つ目は「農林水産観光業の一体推進による経済活性化」であります。

松崎町の歴史の中でいろいろな産業が発達、そして衰退してまいりました。古くは早場まゆ、
炭、天草がありました。昭和36年伊豆急行開通に伴い、伊豆地域に一大観光ブームが訪れ、多
くの旅館、民宿が出現し、商業、観光業が多いに活性化した時代もありました。

また農業部門においてもわさび、さくら葉、柑橘類の生産により多くの収入を得ておりました
が、現在は殆どの産業が衰退しており、観光業、農業などは、どれも10年後を展望した場合、
明るい兆しがないことは皆様も感じていることと思います。

その要因の一つとして、各分野が個別な施策でバラバラに動いているということではないか
と私は感じております。

そこで、農林水産観光業の一体推進が必要と考え、例えば、道の駅を町民アイデアによるワ
クワクするイベントなどを企画するとともに、農水産物を中心とした松崎の産物が並べられ、
町民も観光客も集まる大交流ゾーンにしたいと考えております。

桜葉産業については、積極的に行政が関わっていく、雇用拡大、生産者の収入アップを図る
とともに、耕作放棄地を減少させ、昔ながらの景観を復活させていきたいと思っております。

このような取り組みが成功すれば宿泊施設として民宿などが復活する可能性が高まってくる
と私は期待をしているわけであります。

2つ目は、津波対策をはじめとした防災・減災対策に取り込むことであります。

安全に過ごすことができない観光地にお客様が訪れることはありません。また、町民は災害が発生しても最小限の被害で済むという安心感を求めています。

危険個所については優先順位をつけて修繕するという予防重視型対策を整え、地震津波がきたらすぐに避難路から安全な場所に移動できるようにいたします。

そして、具体的には各地区の区長さん、役場の職員、消防署員がセットとなって、月1回、その地区を点検する体制を構築してまいります。

そして、土木建築業者、水道工事業業者、電気工事業業者等々強い契約を結びます。

そして、近隣市町との災害復旧契約を締結し、お互い被災があった場合には助け合う体制といたします。

そして、町に防災専門担当者を置き、町長や幹部がたとえ不在であったとしても指揮命令が迅速に行きわたる、機能する組織を構築してまいります。具体的に施策を実行してまいりたいと思っています。

そして、3つ目は「医療、福祉の充実」でございます。

地方自治法第1条の2に地方公共団体の役割は、住民福祉の増進であると明確に規定してございます。地方公共団体というのは、まさしく役場であります。したがって、住民福祉の増進を図らない役場は役場ではないわけであります。

そこで、私は順天堂病院行きの直通バス運行と、買物に不自由な地域へのマイクロバス運行は町民からのニーズが非常に多く、早期運行を目指してまいります。それから、今年、町内の医療機関が先生の高齢化による廃院がありました。これに代わる診療所を誘致したいと考えております。これについては時間がかかるとは思いますが、粘り強く誘致に向けて努力してまいります。

次に今までの話の切り口に変えまして、歳をとってもやれる仕事を見だし、やりがい、いきがいのある生活を送ることによって、病気を寄せ付けない身体を維持していくことが本人の幸福になると思います。

先ほど述べました農林水産観光業に従事し、収入を増やし、定期的に地元のお医者さんで健康診断を受け、疾病については早期に完治させる、重度化させない姿勢が求められていると思います。

自分の身体は自分で守る。自分でできることは自分でやる努力をするということが基本であります。しかしどうしても自分でできなくなったら、行政がしっかり支える町にすることを

私はここで皆さん方にお約束をいたします。

この他、安心して子どもを育てる環境づくりなど多くの課題がありますが、できることから一歩ずつ取り組んでまいります。

いろいろ述べましたが、これらの施策は私1人でできることではございません。「まず隗より始めよ」という言葉のとおり町長と全職員が一丸となって町民満足度の高い町を実現するために強い組織を構築する必要があります。これから職員と1人ずつ個人面談をいたします。私の理念を忠実に実践していく職員を育成するとともに、議会の皆様の言葉にも虚心坦懐に耳を傾け、町民、議会、町長、職員が一体となった体制にしなければいけないと考えているわけでございます。

自分の性格上、駆け足になったり、突進してしまうケース、意見の食い違いや考え方の相違が発生して激しい議論を展開する場面もあるかもしれませんが、私の言動は常に町民の福祉、経済、そして安心・安全を最優先するという理念から発動するものでございます。

松崎町が「町民満足度の高い町」になるよう業務にまい進する覚悟でございます。

今後、議員皆様からのご意見やご指導をいただきながら、私の名前のとおり精一杯松崎町のために働きますのでよろしくお願い申し上げまして私の所信表明とさせていただきます。よろしくどうぞお願いいたします。

○議長（土屋清武君） 以上で町長の所信表明を終わります。
